

馬絹町内会 みんなでつくる 災害に負けないまち。

自然災害による被害を減らし、自分の、家族の、
地域のみんなの命を守るために、私たちは何ができるのか？
馬絹町内会で、防災まちづくりの取組を始めます。

第1回ミーティング

「防災まちづくりってなんだろう？」

◆ 開催日時

10月20日（土）18時30分～20時30分（18時開場）

◆ 会場

宮前地区会館（まじわーる宮前）第1・第2会議室

◆ プログラム

1. 取組の概要説明
2. 講演「防災まちづくりって何だろう？」
3. データで見る荻宿地区
4. 今後の取組について



◆ 講師紹介



加藤 孝明 准教授

東京大学 生産技術研究所

専門分野：地域安全システム学・まちづくり・都市計画
災害シミュレーション技術をはじめとする防災性評価技術や、
それを社会に結びつける「まちづくり支援技術」の開発を
行う一方で、市民協働の防災まちづくりに実践的に取り組んでいます。

お問い合わせ：副会長 矢中地区担当 入口 勇 Tel 877-3554

災害に備えて、私たちには何ができるのか？

突然私たちの生活を一変させ、時に命までも奪う自然災害。発生を止めることができないのなら、私たちにできるのは被害を少なくすること<減災>です。減災のためには、私たちひとりひとり、そして地域が協力して災害発生に備える必要があります。

防災の3つの柱

自助

自分や家族の安全を確保すること

共助

近隣でお互いに助け合うこと

公助

公的機関による
応急・復旧対策活動

馬絹町内会の防災まちづくり

馬絹町内会は、木造建物が多いことから地震時に火災の延焼被害が想定されるエリアとなっています。そこで町内会では、自助・共助による減災のための防災まちづくりの検討・実践をしていきます。

第1回ミーティングでは、「防災まちづくりって何だろう？」というテーマで防災の専門家からお話をうかがい、今後の防災まちづくりについて考えるきっかけにしたいと思っています。多くの方のご参加をお待ちしております。

なお、馬絹町内会は、川崎市まちづくり局市街地整備部防災まちづくり推進課と、コンサルタント（大日本コンサルタント株式会社）のサポートを受けています。

今後の予定

平成30年度

地域課題の把握、対策の検討

第1回 防災まちづくりって何だろう？（10/20）

第2回 地域の課題を見つける①（視点の確認）

第3回 地域の課題を見つける②（まちあるき）

第4回 今後の取組を考えよう

平成31年度

減災に向けた取組の詳細検討

平成32年度

減災に向けた取組の実践



川崎市の防災まちづくりの取組について

川崎市では、まちづくり分野の防災対策について、従来の都市計画を中心とした施策に留まらず、地区単位の取組が重要であると考えています。そこで、「地域住民との協働による防災まちづくり」を展開していくため、地域住民の主体的な防災まちづくり活動の推進を支援する仕組みをスタートしました。

この取組では、専門家等のサポートを受けながら、ワークショップ・ミーティングなどを開催し、自助・共助による減災のための防災まちづくりの取組を推進していきます。